

みんなを  
元気にしたい。  
食で

## ステークホルダーの皆さまの幸せのために

ハルナグループは飲料業界で唯一無二の独創性ある飲料プロデューサーとして、

グループおよびパートナー企業との利益ある成長と、

お客様を中心としたステークホルダーの皆さまから大いなる期待と満足を得られる企業集団になります。

社会から必要とされる企業グループであり続けるためには、ステークホルダーの皆さまから何を期待され、  
何を求められているかを知り、生産・サービス・品質向上に活かしていくことが重要と考えています。

今回はステークホルダーの中からお二人の方にご意見をいただきました。



ステークホルダーの皆さまとともに

## 東日本大震災の影響と 私たちが学んだこと

株式会社JR東日本ウォータービジネス  
代表取締役社長

田村修様



私たちの主力事業は、JR東日本のエキナカで展開する飲料自販機事業です。現在、自販機業界は、震災以降の電力需給逼迫の影響もあり、厳しい状況にあります。しかし、飲料を便利に買えるだけでなく、時にはライフラインとして提供できる自販機の存在価値は、今後も変わらないと思います。もっとも、単に自販機を増やせばいいという時代は終わり、これからはむしろ質が問われることになると思います。自販機の大きな強みであるスピード決済を最大化する電子マネー対応の推進、さらにはネットワーク化などの業態改革なくしては、コンビニエンスストアなどの業態間競争の中で埋没してしまうのではないかとも危惧します。そんなこともあります、私たちは、エキナカという優良立地で展開できるという恵まれた事業環境を生かし、自販機のイノベーションを継続する必要性を感じています。



一方、自販機事業を支えるのは商品の確保です。震災で飲料の確保が困難になった事態を受け、このことを痛感しました。特に、今回の震災では原発の問題もあり、ミネラルウォーターの確保が大きな課題でした。ミネラルウォーターの中でも「フロムアクア～谷川連峰の天然水～」は私たちの主力商品で、この製造維持・継続が私たちにとっては死活的に重要でした。幸いなことに、マチナカの小売店などでミネラルウォーターが欠品する中でも、エキナカでは「フロムアクア」をほぼ欠かさずに提供し続けることができました。実は、「フロムアクア」はハルナビバレッジ様に製造していただき、ハルナビバレッジ様の最大限のご協力を得ることができたことから、この提供を継続できたのです。

「フロムアクア」は、国鉄時代に始まったミネラルウォーター「大清水（おおしみず）」にそのルーツがあり、私たちにとっては特別な意味を持つ商品です。震災後も、「フロムアクア」を安定提供できたことは、ハルナビバレッジ様とのパートナーシップの賜物と深く感謝しております。今後も、ハルナビバレッジ様のご協力を得て、「フロムアクア」のブランド価値向上に努めてまいりたいと思います。

この震災を通じ、自販機イノベーションの継続と「フロムアクア」安定提供の必要性、そして、ハルナビバレッジ様とのパートナーシップの重要性を学びました。

ステークホルダーの皆さまとともに

## 進む道

マルサンアイ株式会社  
代表取締役社長  
青木春雄様



変化の激しい世の中で、私ども食品メーカーとして、生命の根源である食を通じて、多くの人々との繋がりを持てる事が企業運営の上で励みであります。しかし、日本の少子高齢化による人口減少と高齢化社会への移行、そして洋風化による食生活の変化に警鐘を鳴らす学者も少なくありません。拡大する世界の人口増加と食料問題を考えた時に取り上げられる問題として、牛肉と「大豆」の単位面積当たりのタンパク質量を比較すると、「大豆」は牛肉の約10倍近い量の収穫が得られます。一般的に植物性タンパク・ミネラル・ビタミンなどの栄養バランスと、コレステロール・乳糖を含まず畑の肉とも言われる栄養価の高い「大豆」を主要原料とした加工食品の良さを、海外の方に広める事も重要であり我々企業の使命と考えています。この事から、マルサンアイは「大豆が明日のあなたにできること。」をテーマに、【心を込めた商品で世界の人々に豊かな食生活を提案する企業となる】というメッセージを本年度の基本方針に定め、人々の健康を願う企業として日々活動を行なっています。

マルサンアイは、「大豆」を主原料とするみそ、豆乳及び無菌充填技術を生かした飲料類、その他食品の製造販売を行い、創業以来ずっと「おいしさと健康」をテーマに「大豆」へのこだわりを持ちつづけています。これからも自然の恵み「大豆」の可能性を探求し、社員が一丸となり、「100年目も、大豆であります。」の合い言葉で企業活動を行なっていきます。この活動の豆乳生産におきまして、東日本の生産拠点を担っていただいているのがハルナビバレッジ株式会社様であり、早7年が経過しました。今後も企業間の繋がりを強固な物として、ハルナビバレッジ様と共に発展してまいりたく思います。



みんなを  
食で元気にしたい。



編集にあたり

この度の東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆さまには、心からお見舞い申し上げます。  
ハルナグループは、皆さまのご健康と被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

2011年3月11日、この日を境に一変した日本。それまでの「安全な国、日本」のイメージが揺らいでいる今、飲料をご提供する私たちには大きな責任があります。そこで私たちにできること、それは「食でみんなを元気にしたい」という想いでした。今年度のSRR報告書は、ステークホルダーの皆さまと、力を合わせて明るい復興へ新たな一歩を踏み出したい。未来をみつめて食でみんなを元気にしたい。という切なる想いで作成いたしました。

ハルナグループCSR推進室  
2011年6月22日

ハルナグループCSR推進室  
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-8-4 日本橋さくら通りビル2階  
kouhou@harunabev.co.jp

